

## 越智貴雄写真展「切断ヴィーナス」開催

2月12日、区役所2階の区民ギャラリーで、「切断ヴィーナス～越智貴雄写真展」が始まりました。この写真展は、写真家の越智貴雄さんが、義足を履いているポジティブな女性たちを撮影したもので、彼女たちのあふれる美しさと力強いエネルギーをストレートに発信し、障害者に対して持っているネガティブな先入観を取り払いたいと願うメッセージが込められています。

また、写真には、区内在住の義肢装具士・臼井二美男さんが制作した義足が数多く紹介されています。臼井さんは、越智さんと共に「切断ヴィーナスプロジェクト」に取り組むほか、義足の陸上クラブの代表も務め、2000年のパラリンピックからは日本代表のメカニックとして同行しています。19日には2人によるトークショーも行われます。展示は、2月22日までです。

越智貴雄さんとパラリンピックとの出会いは2000年のシドニー大会です。報道カメラマンとして、オリンピックの後に、パラリンピックの撮影の依頼を受け、そこで繰り広げられる競技の質の高さと面白さに驚きと感動を覚えました。これをきっかけに、国内外でパラスポーツの撮影をするのが、越智さんのライフワークとなりました。

今回の写真展「切断ヴィーナス」は、2014年に出版された写真集に納められた作品と新たに撮り下ろした作品を合わせて40枚ほどが展示されています。

また、展示写真には、区内在住の義肢装具士、臼井二美男さんが制作した義足が数多く紹介されています。臼井さんは、パラアスリートの競技用の義足を手掛ける一方で、マタニティ義足やミニスカートやハイヒールを履くときに使用するファッションブルな義足など、これまで誰も作らなかった義足を開発しています。

今回の写真展には、臼井さんが作る世界最高峰の義足と、その義足で笑顔を手に入れた人たちにスポットを当てた作品が並び、越智さんの「この作品を見た人が前向きに人生を歩むその一助にしてもらいたい」との願いが込められています。

12日の初日から、会場には多くの観覧者が訪れましたが、その中の一人で区役所の近くに住む70代の男性は、「写真展を楽しみにしていました。やっぱり、障害のあるなしに関わらず、自分ができることを一生懸命にやらなければと思いました。」と話していました。

展示は22日までで、19日午後0時10分から0時50分には、区役所1階ロビーで、越智貴雄さんと臼井二美男さんのトークショーを予定しています。ゲストで写真のモデルになられた須川まきこさんも参加されます。観覧は、申し込み不要ですので、直接会場へお越しください。



### 【問い合わせ先】

区民生活部オリンピック・パラリンピック連携推進担当 03-3312-2111 内線 3774